


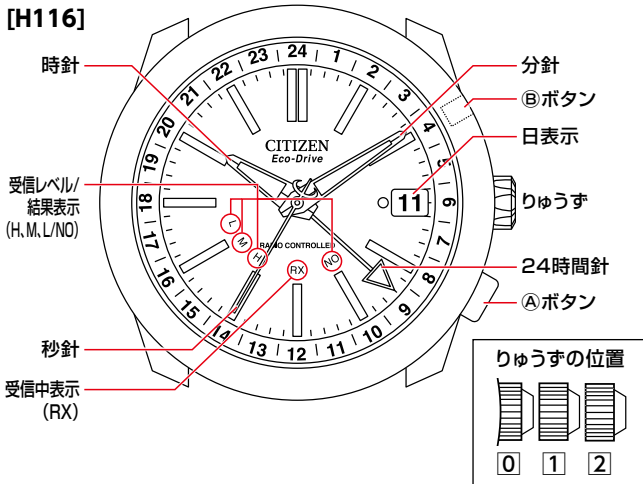
H116 / H117 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

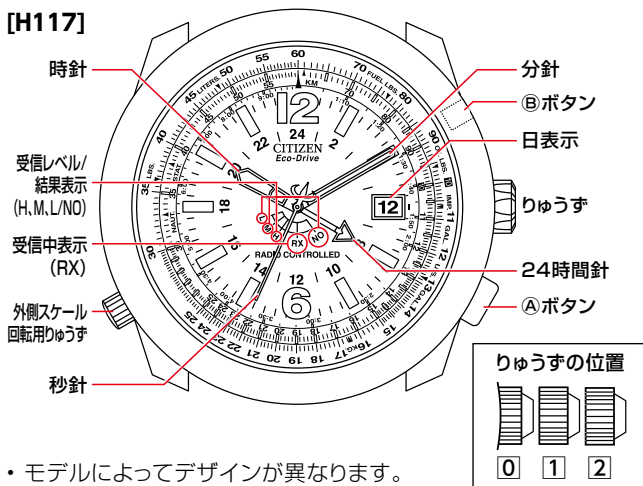
 H116 / H117取扱説明書

各部の名称

[H116]



[H117]



- モデルによってデザインが異なります。
- スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) をご参照ください。

受信結果を確認する

- この時計は、標準電波を毎日午前2時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前4時に再度受信を試みます。

1. りゅうずの位置を0にする
2. Aボタンを押す

秒針が、受信結果 (「H」「M」「L」または「NO」) を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信中または受信したとき。
M	良い状態で電波を受信中または受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信中または受信したとき。
NO	受信に失敗したとき。 (手動で受信を行ってください)

- モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- 「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- 受信結果を表示して10秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。Aボタンを押すと、すぐに戻ります。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

電波を手動で受信する(強制受信)

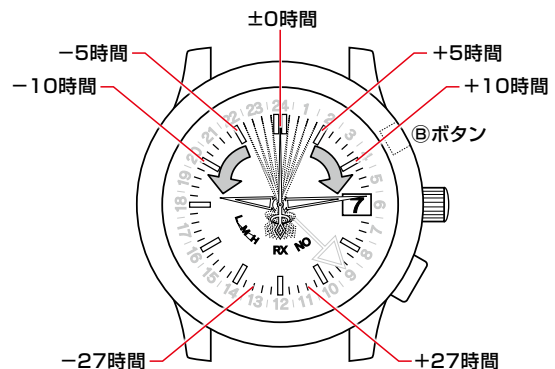
- 受信が完了するまでに最大約13分かかります。

1. りゅうずの位置を0にする
2. 秒針が「RX」位置に移動するまで、Aボタンを2秒間以上押し続ける
 - 秒針が「H」、「M」または「L」に移動して受信を開始します。
 - 受信中は時計を動かさないでください。
 - 受信が完了すると、時刻表示に戻ります。

時差機能を使う

- 時差を設定することで、時刻合わせをすることなく、他の地域の時刻を表示させることができます。
- 日本時間を基準に、±27時間の範囲(1時間単位)で時差を設定します。

1. りゅうずの位置を0にする
2. Bボタンを押す
3. りゅうずを回して、時差を設定する



- 秒針が0秒を指しているときに、時差±0です。
4. Bボタンを押す
- 各針が高速で回転し、時差設定時刻を表示します。
- ボタンを押さなくても60秒経過すると時差設定時刻を表示します。

デュアルタイムを使う

現在の時刻のほかに、24時間針でもう一つの時刻を1時間単位で設定ができます。

1. リゅうずの位置を①にする

秒針が、現在設定されている年と月を表示します。

2. ㊸ボタンを押す

秒針が現在設定されている時差に移動し、その後24時間針が往復運動します。

3. リゅうずを回して、時差を合わせる

時差は秒針で合わせます。

12時位置を基準に、±27時間の範囲(1時間単位)で時差を設定します。

4. リゅうずの位置を②にする

24時間針が時差設定時刻を表示します。

時刻を手動で合わせる

1. リゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指します。

2. リゅうずを回して、時刻を合わせる

- 日表示が切り替わったときが午前0時です。午前/午後を間違えないよう注意します。
- リゅうずを素早く回転させると、各針が連続して動きます。リゅうずを少し回すと止まります。
- 24時間針は時針と連動して動きます。

3. 時報に合わせて、リゅうずの位置を③にする

秒針が動きはじめます。

カレンダーを手動で合わせる

- この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. リゅうずの位置を①にする

現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。日表示の修正ができるようになります。

2. リゅうずを回して日表示を合わせる

- リゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して動きます。リゅうずを少し回すと止まります。

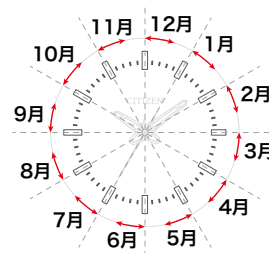
3. ㊸ボタンを押す

年と月が合わせられるようになります。

- ㊸ボタンを押すごとに、「日表示」→「年、月」と修正対象が切り替わります。

4. リゅうずを回して、月と年を合わせる

月は、時刻の「時」の範囲で示されます。

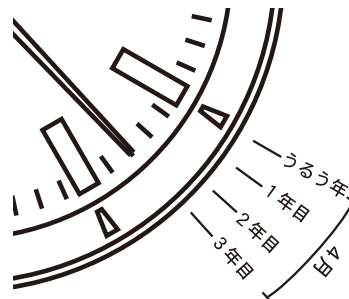


- 年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能・購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例)2015年4月に合わせるときは

4月→4時の範囲

2015年→うるう年から3年目



- リゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。リゅうずを少し回すと止まります。

5. リゅうずの位置を③にする

現在の時刻に戻ります。

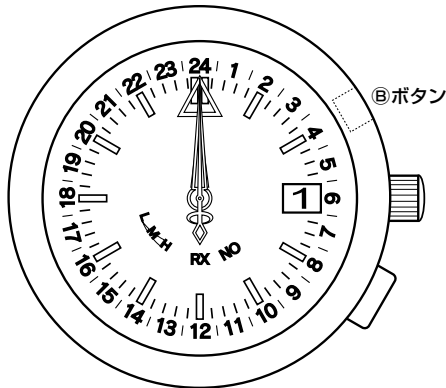
基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を①にする
2. 秒針が高速で動き始めるまで、②ボタンを5秒間以上押し続ける

各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
(最大約7分)

- 正しい基準位置:
すべての針が12時位置、
日表示が「1」

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



3. ②ボタンを押して、確認を終了する
時刻表示に戻ります。

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を①にする
2. ②ボタンを5秒間以上押し、秒針が高速で回転したら離し、りゅうずの位置を②にする
各針/表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。
3. りゅうずを回して日表示を「1」に合わせる
りゅうずを連続回転させると、日表示が連続で動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。
4. ③ボタンを押す
24時間針が合わせられるようになります。
5. りゅうずを回して、24時間針を「0時」に合わせる
• りゅうずを素早く回転させると、24時間針が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
6. ④ボタンを押す
時、分、秒が合わせられるようになります。
7. りゅうずを回して、「0時0分0秒」に合わせる
• りゅうずを素早く回転させると、各針が連続して回転します。
りゅうずを少し回すと止まります。
8. りゅうずの位置を①にして、②ボタンを押して終了する
各針と日表示が高速で時刻表示に戻ります。